

## 東京中田会総会が開催 ふるさとを懐かしむ

平成24年度東京中田会総会が5月26日、東京都新宿区のグランドヒル市ヶ谷で開催され、会員のほか登米市から市議会議員ら10人が出席しました。総会では、菊地拓朗会長から、ふるさとの復興を願い昨年に引き続き東日本大震災の義援金を手渡されました。総会終了後、懇親会が行われ、ふるさとでの懐かしい思い出や近況などを語り合いました。また、会場内で開催された「中田の物産展」は、総会開始前から物産品を買い求める会員でにぎわい、大盛況となりました。



▲懐かしいふるさとを思い近況などを語り合いました

## 迫 下舟丁敬老会 舞台を彩るたくさんの余興

下舟丁町内会の恒例行事で毎年さまざまな催しが行われている敬老会が、5月27日に開催されました。今回、最も盛り上りを見せたのは、下舟丁の町内会カラーでもある鮮やかなオレンジ色の衣装をまとった子どもたちによるチビッコよさこいです。よさこいの衣装は、昨年度に登米市協働のまちづくり地域交付金を活用、区内の親子が主体となってデザインを考え、全て手作りで制作したものです。チビッコよさこいが披露されると会場は大きな拍手と歓声に包まれました。



▲子どもたちの元気な演舞が披露されました

## 市消防団豊里支団消防訓練 地域を守る消防団

市消防団豊里支団消防訓練が6月3日、豊里多目的広場で開催されました。訓練には、七つの分団から104人の団員が参加。指揮者の号令によって前後左右に行進する「小隊訓練」、4人一組で消防ポンプを素早く正確に操作し消火する「ポンプ操法」が分団対抗で行われました。各分団とも迅速な動作や確実な操作など高い技術を披露し、来賓や出席者から大きな拍手が送られていました。小隊訓練では本部分団、ポンプ操法では第6分団がそれぞれ優勝し、本部分団が総合優勝を成し遂げました。



▲日頃訓練した見事なポンプ操法を披露



▲晴天のもと、抜群の集中力でゲート通過を狙います

## 近 隣市町40チームが参加 ゲートボール大会が登米で開催

第21回登米町みやぎの明治村ゲートボール大会が6月2日、登米小学校校庭を会場に開催されました。大会には、気仙沼市や一関市などの近隣市町を含め40チームが参加。八つのブロックに分かれたリンク方式で勝敗を競いました。各チームとも日頃の練習の成果を存分に発揮し、熱戦が繰り広げられた結果、気仙沼市の「ザ・ドラゴン」チームが優勝に輝き、大会史上初の3連覇を達成しました。試合終了後、選手たちは互いの健闘をたたえあい、来年の大会での再会を誓いました。

## 第24回仙台米山会総会ならびに懇親の集い ふるさとに思いを馳せる

第24回仙台米山会総会ならびに懇親の集いが5月27日、仙台市青葉区のKKRホテル仙台で開催されました。この会は、仙台市近郊に住む米山町出身者で構成され、会員数は220名に上ります。今回の総会は、昨年度の東日本大震災の影響で2年ぶりの開催で、会員22人のほか登米市から市議会議員らが出席しました。総会終了後、懇親の集いが行われ、懐かしいふるさとを思いながらの昔話や近況などを語り合い、大いに盛り上がりました。参加者には、お土産として道の駅米山で購入した品々が配られました。



▲同郷の友と登米市の発展を願って万歳三唱

## 東和でキリシタンの里まつり キリシタン殉教者への祈り

東和キリシタンの里まつりが6月3日、東和綱木農村公園を主会場に開催されました。この祭りはキリシタンの遺跡・文化や自然を活用した地域づくりを目的に、同実行委員会の主催で開催。カトリック米川教会では殉教祭が行われ、市内外から多くの人を訪れました。また、公園内の特設ステージでは踊りや歌などが披露されたほか、地場産品の即売やはっとなどの田舎料理を販売。近くを流れる綱木川では、魚のつかみ取りが行われ、参加した人たちは歓声を上げながらヤマメやイワナを追いかけっていました。



▲殉教者の墓に花を手向ける人もいました